

メールマガジン 2024年2月

1月も駆け足で過ぎ去り、先週から受難節に入りましたがいかがお過ごしでしょうか。私たちの教会は、この時期ではありますが教会の方の結婚式を予定しています。ドイツの正式な結婚式は先ず役所で行いますが、図らずも役所が指定してきたのが2月20日でした。また参列される両家のご家族の事情もあるので、教会での結婚式は3月を予定しています。イエス様はこの世の様々な事情をきっとご理解くださるだろうと思いつつ準備をしているところです。

さて、コロナ禍を除いて、大抵毎年2月～3月にかけて、宣教報告のために日本に一時帰国しており、去年は3年振りに多くの教会を訪問させて頂きました。今年も同じように帰国しようと考えた時もありましたが、2025年には本帰国しますので、今のところ日本には戻らない予定です。本帰国後、改めてご挨拶にお伺いしたいと願っていますので、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

昨年日本にお伺いしたT教会から、ヒム・プレイヤー(携帯型讃美歌自動演奏機)を頂きました。先日、礼拝で試用してみました。機械に合わせるのは結構難しいのですが、初めてにも拘わらずズレることなくしっかりと賛美できました。そして操作もすぐに覚えられて、皆さまの適応力には驚きました。

他にも教えられたことがあります。奏楽者のお一人が目の病のために細かい楽譜が見づらくなっているのので、ある姉妹が楽譜を拡大コピーした後、音符を一つひとつマジックでなぞって見やすくしています。細い作業で手間がかかると思いますが、奉仕できることを喜んでおられる姉妹のお姿に教えられています。

また現在関わらせて頂いている無牧のブリュッセル教会の姉妹は、信徒の方が入居されている老人ホームへの訪問や、赤ちゃんが誕生すればお祝いにかけつけたり東奔西走しておられます。

教会はこのような信徒の方々の尊い愛のご奉仕によって支えられていることを実感しています。牧師一人では決してなし得ないことです。ケルンもブリュッセルの教会も美しい群れだな～と思いながら愛おしく感じています。これからどのように「信徒力」が発揮されてゆくのか楽しみです。

立春が過ぎたとはいえ、まだまだ寒さも続くことと思います。主のお守りの中でレントからイースターへと歩まれますようにお祈り申し上げます。

「支える会」のホームページにはドイツの様子ที่わかる写真も掲載しています。過去のメールマガジンも見やすかったですので、是非ご覧ください。<http://www.komatsugawa-ch.com/Pfarrerin-Ryokosasaki/mailmagazine.html>

ケルン・カーニバル

カトリックの影響が強い地方の古い風習ですが、起源は病気が流行して食べ物が不足しがちな暗くて寒い冬を追い払い、早く春を迎えようという意味で開かれていました。灰の水曜日まで、仮装してどんちゃん騒ぎするお祭りです。私も誘われて参加しましたが、どうみても普通のおばさん



この袋の中にお菓子等が入っています😊

お菓子、お花、etc.がばらまかれ、それを集めるのが楽しみの一つ。たくさんの収穫！